



〔坊勢島・鳥ケ内海岸にて〕

- ① 25cm×25cm枠の厚紙を、砂浜に置く。
- ② 枠内の砂を、3cm程度の深さまで採取する。（深さは、スコップで測れます。）
- ③ 採取した砂は、フルイ（粗い目）にかける。フルった小さい砂は、ポリバケツに落ちるように、フルイの下にバケツを置いておく。

※1度にフルイに乗せられないので、3～4回に分けて行う。

- ④ フルイ（粗い目）に残った海岸漂着物（プラスチック片）をジップバックAに入れる。 ※小石、小枝等も、いっしょに入ってよい。
- ④ ③でポリバケツに落ちた砂を、もう一度フルイ（細かい目）にかける。フルった砂は、ポリバケツにもう一度落とす。
- ⑤ フルイ（細かい目）に残った海岸漂着物を、④のジップバックに入れる。
- ⑥ 空のバケツを使って、砂の入ったポリバケツに海水を入れる。
- ⑦ 金魚ネットの持ち手側をポリバケツに入れて、砂を良くかき混ぜる。
- ⑧ 浮いてきたものだけを、金魚ネットですくい、ジップバックBに入れる。
- ⑨ 浮いているものがほぼなくなるまで、⑦～⑧を3～4回繰り返す。
- ⑩ ジップバックA・Bの中にプラスチック片があるかどうか確かめよう。
- ⑪ ポリバケツの中の沈んだ砂を捨てて、海の水で軽く洗う。
- ⑫ ポリバケツ、金魚ネット、スコップなどを、シャワー場の水道水で洗う。
- ⑬ ポリバケツの中に、金魚ネット、スコップ、ジップバックA・Bを入れて、回収場所に提出する。（シャワー場近くに、段ボールを用意します。）

片付けだよ

○回収物は、もう少し涼しい季節なってから、理科室で分別作業をして、顕微鏡で観察をします。



①～③ ↑厚紙 フルイ（粗）



④集まった海岸漂着物を、ジップバックAへ



⑤フルイ（細）で集めた海岸漂着物もAへ回収



⑥海水をゆっくり入れよう。〔半分～7割程度〕



⑦金魚ネットを反対に持ってしっかり混ぜよう。



⑧浮いているものを、できるだけすくって、ジップバックBへ



最後に、きれいにお片付けをしよう。